



鹿児島県立甲南高等学校

進路指導室だより

令和2年度 第2号 (5月26日発行)

「歳月不待」

3年6組担任 本村 正徳

「歳月不待(さいげつふたい)」とは、時は人の都合などで待ってくれず、あっという間に過ぎていくので、今の一瞬一瞬のときを大切にすべきという意味です。

甲南生の皆さん、大変な世の中になっていますが、落ち着いて生活できていますか。この時期に各学年においてどのようなことを考えてほしいか、私なりの考えを以下に述べます。

1年生 **ファーストペンギンになろう！**

「ファーストペンギン」とは、集団で行動するペンギンの群れの中から、アザラシやトドなどの天敵がいるかもしれない海へ、魚を求めて最初に飛びこむ1羽のペンギンのことです。その「勇敢なペンギン」のように、リスクを恐れず初めてのことに挑戦するベンチャー精神の持ち主を、米国では敬意を込めて「ファーストペンギン」と呼ぶそうです。始まったばかりの高校生活、何事にも積極的に取り組み、勇気を出して今までの自分を打破する**挑戦**をしてみても、いかがでしょうか。



2年生 **後悔先に立てろ！**

「後悔先に立たず」では？と思うかもしれませんが、これは、後悔するであろう将来のことを先読みして、今から動き出そうということです。例えば、金曜日にもらった週末課題、「土日があるさ。」と余裕していると気づいたら日曜の夜、という後悔はありませんか。これが、「受験まであと1年半以上あるさ。」と余裕していると気づいたら受験前日という後悔につながりかねません。「1年の時は真面目にやっていたけど、2年の時さぼりすぎた。」「2年生に戻りたい。」という声を毎年3年生からよく聞きます。その2年生のスタート時期が**今**です。よかったですね。まだまだこれからです。勝負の時に後悔しないように、この一年を自分の目標に向かって大きくレベルアップする年にしましょう。



3年生 **前進あるのみ！**

受験勉強の遅れを自覚してはいるものの、不安や焦りが先行し何に手をつけていいかわからない人も多いと思います。「やればできる。」と過信している人はいませんか。そんな推測はあてになりません。このような人に限って、実行できず後悔してしまいます。それよりも、短期目標を設定し、「やったらできた！」を実感してください。「やったか」、「できたか」は本人の感覚でしか分かりません。自分自身で納得できるようにやってみて、成功体験を味わってください。やるしかない！



部活動生の中には、すでに引退を決めた人、何らかの最終目標までやり切ろうとしている人それぞれでしょうが、熱い気持ちを学習への切り替えに生かすには、「徐々に」ではなく、「**一気に**」が大切です。部活動の時間を勉強の時間に置き換えると同時に、部活動をしていたときの目標も、受験についての目標に差し替えましょう。今まで頑張ってきた集大成がどのような形であれ、ココまでと決めたところまでは**全力文武両道**を貫いてください。

『君の心の庭に忍耐を植えよ。その根は苦くともその実は甘い。』 [ジェーン・オースティン(英)作家]

人間だれしも弱いものです。だからこそ一念発起して自分を奮い立たせ、それを継続させることが必要なのです。合格するためには本気にならないといけません。志望校合格という甘い実をつけるために、毎日を前向きに**完全燃焼**していきましょう。

■ 進路指導部から：大学入学共通テストについて

今の3年生から大学入試制度が大きく変わりますが、皆さんはそのことについてどのくらい知っているでしょうか。中でも大きく変わるのが、大学入試センター試験が廃止され、新たに大学入学共通テストに変わる点です。今回は、現段階で分かっている変更点を説明します。

※ 大学入学共通テストは、センター試験と同じマーク形式で行われますが、大きな変更点は、以下の通りです。

- 1 数学①：数学Ⅰ，数学ⅠAの試験時間が60分から70分になる点（マーク式）
 - 2 英語は、今まで筆記200点，リスニング50点であったが，リーディング100点，リスニング100点となり，リスニングの割合が大きくなる点。
- ※ 但し，英語のリーディングとリスニング（各100点）をどのように点数化するかは，それぞれの大学・学部で違います。今後，大学の募集要項で確認する必要があります。

● これを見て、あまり変わらないのではと思った人もいますが、問題の出題方法が大きく変わります。問題文が長くなり、複数の資料、図やグラフを見て総合的に判断する問題など、1問を解くのに時間がかかるようになります。そこで求められるのは、

- 1 知識を使って筋道を立てて考察する力
- 2 資料に基づいて関係性を読み取る情報処理能力
- 3 情報を組み合わせたり関連づけたりして日常生活に応用する情報編集力

※ これらを身につけることは容易ではありません。そこで今、何をやるべきか。

① 基礎力を身につける。

共通テストは、今まで見たことがない内容や形式の問題が出題されることが予想されます。つまり、初見の問題にいかに対応できるかが問われていきます。そこで重要なのは、土台となる基礎力を身につけることです。そのためには、知識を理解し、問題演習を繰り返して定着させるという地道な作業をするしかないのです。みなさんの中には、「効率の良い勉強法はないですか。」という質問をしてくる生徒がいます。しかし、そんな勉強法などありません。何度も同じものを繰り返してやることで、揺るぎない基礎力がつきます。また、自分が本当に理解できているかを確認する方法のひとつは、「他人に説明をすること」です。他人が自分の説明を理解してくれれば、それは自分のものになったと言えるでしょう。

② 時間を意識する。

共通テストは、試験時間に対して問題量が多く、時間的に厳しい試験になります。限られた時間の中でいかに多く正確に解けるかにかかってきます。「時間があれば解けたのに」というのは通用しません。そこで、毎日の学習において「ここまでに終わらせるぞ。」という時間を設定しましょう。学習の記録で、時間内に出来たこと、出来なかったことを振り返り、明日以降の学習計画に生かしていく。それが、模擬試験などの効果的な解き方や時間配分につながっていきます。

効率の良い勉強法を求めめるのではなく、効果的な時間の使い方を身につけるようにしよう。